

スコアシート				重点評価項目：W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質・性能									2.2		
Q-1 室内環境							0.40		2.7		
1 音環境							2.6	0.15	3.0	1.00	2.9
1.1 騒音							3.0	0.40	2.0	0.29	
1 1 暗騒音レベル							3.0	1.00	2.0	1.00	
2 設備騒音対策											
1.2 遮音						2重サッシにより遮音性能向上	3.0	0.40	3.6	0.50	
1 1 開口部遮音性能							3.0	0.98	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能							3.0	0.02	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							3.0		3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							4.0		3.0	0.20	
1.3 吸音							1.0	0.20	3.0	0.21	
2 温熱環境							1.3	0.35	2.4	1.00	2.3
2.1 室温制御							1.1	0.71	3.0	0.50	
1 室温設定									3.0	0.60	
2 負荷変動・過熱制御性				W							
3 外皮性能							1.0	0.94	3.0	0.40	
4 ゾーン別制御性							3.0	0.06			
5 温度・湿度制御											
6 個別制御											
7 時間外空調に対する配慮											
8 監視システム											
2.2 湿度制御							2.0	0.29	3.0	0.20	
2.3 空調方式									1.0	0.30	
3 光・視環境							2.2	0.25	2.3	1.00	2.3
3.1 昼光利用							2.4	0.30	2.5	0.30	
1 昼光率							2.0	0.60	2.0	0.50	
2 方位別開口									3.0	0.30	
3 昼光利用設備				W			3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策							1.0	0.30	3.0	0.30	
1 遮光器具のグレア											
2 昼光制御				W			1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度							3.0	0.15	3.0	0.15	
1 照度							3.0	1.00	3.0	1.00	
2 照度均斉度											
3.4 照明制御							3.0	0.25	1.0	0.25	
4 空気質環境							4.1	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1 発生源対策						規制対象外建材を使用しているため有害物質は含んでいない。	5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学物質汚染							5.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策											
3 ダニ・カビ等											
4 レジオネラ対策											
4.2 換気							3.0	0.40	1.6	0.38	
1 換気量							3.0	0.49	3.0	0.33	
2 自然換気性能							3.0	0.02	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮							3.0	0.49	1.0	0.33	
4 給気計画											
4.3 運用管理							3.0	0.01			
1 CO ₂ の監視							3.0	0.50			
2 喫煙の制御							3.0	0.50			
Q-2 サービス性能								0.30			2.3
1 機能性							2.2	0.40	1.4	1.00	1.4
1.1 機能性・使いやすさ							3.0	0.60	1.0	0.60	
1 広さ・収納性							3.0	0.02	3.0		
2 高度情報通信設備対応							3.0	0.02	1.0	1.00	
3 バリアフリー計画							3.0	0.97			
1.2 心理性・快適性							1.0	0.40	2.0	0.40	
1 広さ感・景観							3.0	0.02	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース							3.0	0.02			
3 内装計画							1.0	0.97	1.0	0.50	
2 耐用性・信頼性							2.6	0.31			2.6
2.1 耐震・免震							3.0	0.48			
1 耐震性							3.0	0.80			
2 免震・制振性能							3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数							2.7	0.33			
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔				W			3.0	0.29			
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				W			3.0	0.12			
3 配管・配線材の更新必要間隔				W			3.0	0.29			
4 主要設備機器の更新必要間隔				W			2.0	0.29			
2.3 適切な更新											
1 床・(屋根)・外壁仕上げ材の更新											
2 配管・配線材の更新											
3 主要設備機器の更新											
2.4 信頼性							1.8	0.19			
1 空調・換気設備							3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備							1.0	0.20			
3 電気設備							1.0	0.20			
4 機械・配管支持方法							3.0	0.20			
5 通信・情報設備							1.0	0.20			

スコアシート				重点評価項目：W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理								
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数				
3 対応性・更新性												
3.1 空間のゆとり							3.0	0.29	3.3	1.00	3.2	
1 階高のゆとり						最大限の階高を確保	3.0	0.01	3.6	0.50		
2 空間の形状・自由さ							3.0	0.60	4.0	0.60		
							3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり							3.0	0.01	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性							3.0	0.97	-	-		
1 空調配管の更新性							3.0	0.17	-	-		
2 給排水管の更新性							3.0	0.17	-	-		
3 電気配線の更新性							3.0	0.11	-	-		
4 通信配線の更新性							3.0	0.11	-	-		
5 設備機器の更新性							3.0	0.22	-	-		
6 バックアップスペースの確保							3.0	0.22	-	-		
Q-3 室外環境(敷地内)							-	0.30	-	-	1.4	
1 生物環境の保全と創出					G		1.0	0.40	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮					G		2.0	0.20	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮							1.5	0.40	-	-	1.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上						S	1.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上				W	G		2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性											2.8	
LR-1 エネルギー							-	0.40	-	-	3.6	
1 建物の熱負荷抑制				W			3.0	0.40	-	-	3.0	
2 自然エネルギー利用							3.0	0.20	-	-	3.0	
2.1 自然エネルギーの直接利用				W			3.0	0.50	-	-		
2.2 自然エネルギーの変換利用				W		S	3.0	0.50	-	-		
3 設備システムの高効率化				W			共用部 HF蛍光灯、LEDタイルの使用	4.8	0.40	-	-	4.7
4 効率的運用							3.0	0.01	-	-	3.0	
4.1 モニタリング				W			3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制				W			3.0	0.50	-	-		
LR-2 資源・マテリアル							-	0.30	-	-	2.7	
1 水資源保護							1.8	0.15	-	-	1.8	
1.1 節水				W			1.0	0.60	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水再利用							3.0	0.40	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				W			3.0	0.67	-	-		
2 雑排水再利用システム導入の有無				W			3.0	0.33	-	-		
2 低環境負荷材							2.9	0.85	-	-	2.9	
2.1 資源の再利用効率							2.3	0.35	-	-	規制対象外建材を使用しているため有害物質は含んでいない。	
1 躯体材料の再利用効率				W			3.0	0.67	-	-		
2 非構造材料の再利用効率				W			1.0	0.33	-	-		
2.2 持続可能な森林から産出された木材				W			2.0	0.04	-	-		
2.3 有害物質を含まない材料							5.0	0.08	-	-		
2.4 既存建築躯体などの再利用				W			3.0	0.18	-	-		
2.5 部材の再利用可能性				W			3.0	0.18	-	-		
2.6 フロン・ハロンの回避							3.3	0.18	-	-		
1 消火剤				W			4.0	0.33	-	-		
2 断熱材				W			3.0	0.33	-	-		
3 冷媒				W			3.0	0.33	-	-		
LR-3 敷地外環境							-	0.30	-	-	1.7	
1 大気汚染防止				W			3.0	0.10	-	-	3.0	
2 騒音・振動・悪臭の防止							3.0	0.05	-	-	3.0	
2.1 騒音							3.0	0.33	-	-		
2.2 振動							3.0	0.33	-	-		
2.3 悪臭							3.0	0.33	-	-		
3 風害、日照障害の抑制							1.6	0.10	-	-	1.6	
3.1 風害の抑制							1.0	0.70	-	-		
3.2 日照障害の抑制							3.0	0.30	-	-		
4 光害の抑制							3.0	0.05	-	-	3.0	
5 温熱環境悪化の改善				W	G	S	1.0	0.30	-	-	1.0	
6 地域インフラへの負荷抑制							1.8	0.40	-	-	1.8	
6.1 雨水処理負荷抑制				W			3.0	0.30	-	-		
6.2 汚水処理負荷抑制							3.0	0.10	-	-		
6.3 交通負荷抑制							1.0	0.30	-	-		
6.4 廃棄物処理負荷				W		S	1.0	0.30	-	-		

LR-1 用途別得点表		集合住宅	事務所	-	-	面積按分
		2,296 m ²	116 m ²	-	-	総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		3.0	3.0	-	-	3.0
3 設備システムの ERRIによる評価		-	データ未入力	-	-	4.758884564
3 高効率化 個別設備による評価		5.0	-	-	-	
3.1 空調設備		-	-	-	-	-
3.2 換気設備		-	-	-	-	-
3.3 照明設備		5.0	-	-	-	-
3.4 給湯設備		-	-	-	-	-
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	-